

発行日: 2015年11月13日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称:

製品名称: スーパーヘビーデューティーディグリーザー

製品番号(SDS NO): 20151113_J-1

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途: 高性能油脂除去/油用洗浄剤

供給者情報詳細

供給者: 株式会社ベストハウス

住所: 東京都品川区東五反田5-19-1

電話番号: 03-6432-5797

FAX: 03-6432-5798

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体: 区分 4

健康に対する有害性

急性毒性(吸入): 区分 4

皮膚腐食性及び刺激性: 区分 1

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性: 区分 1

環境有害性

水生環境有害性(急性): 区分 3

水生環境有害性(長期間): 区分 3

GHSラベル要素



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

可燃性液体

吸入すると有害(気体、蒸気、粉じん及びミスト)

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

重篤な眼の損傷

水生生物に有害

長期継続的影響によって水生生物に有害

物理的及び化学的危険性

高温になると引火、燃焼する恐れがある。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別: 混合物

成分名	CAS No.	含有量(%)	化審法番号
イソプロパノールアミン	78-96-6	27	2-323
ベンジルアルコール	100-51-6	15	3-1011
水	7732-18-5	58	-

危険有害成分

毒物及び劇物取締法, 安衛法「表示、通知すべき有害物」, 化管法に該当する危険有害成分なし

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

直ちに医師に連絡すること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

意識のある場合はコップ3 - 4杯の水を飲ませる。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

火災の場合は霧状水、泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

特有の危険有害性

燃焼の際に有毒な炭素酸化物、窒素酸化物を生成する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

適切な保護具を着用する。

着火源を取除くとともに換気を行う。

風上から作業し、風下の人を退避させる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

大量の水で洗い流し、乾燥させる。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

(火災・爆発の防止)

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。

注意事項

凍結を防ぐ。

安全取扱注意事項

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

保護手袋、保護衣又は保護面を着用すること。

取扱い後は手、汚染箇所をよく洗う。

取扱中は飲食、喫煙してはならない。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

施錠して保管すること。

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

推奨保存温度 :15°C

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度データなし

許容濃度

日本産衛学会関連許容濃度データなし

ACGIH許容濃度データなし

ばく露防止

保護具

手の保護具

保護手袋を着用する。推奨材質:ネオプレンまたはゴム

眼の保護具

化学品用ゴーグルを着用する。

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理的状态

形状:液体

色:赤色

臭い:着臭剤未添加

臭いの閾値データなし

pH:9.5 ± 0.5

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

初留点/沸点:>100°C

蒸発速度:水と同じ

凝固点:<0°C

引火点:85°C

自然発火温度データなし

爆発特性:引火又は爆発範囲

下限データなし

上限データなし

蒸気圧:1.093kPa

相対蒸気密度(空気=1):4.1

比重/密度:1.03

溶解度

水に対する溶解度:混和する

10. 安定性及び反応性

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

避けるべき条件

加熱(250°C以上)を避ける。

混触危険物質

強酸化性物質、炭素酸化物

危険有害な分解生成物

通常の保管条件/取扱い条件において危険有害な分解生成物は生じない。

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[日本公表根拠データ]
(ベンジルアルコール)
rat LD50=1230 mg/kg (PATTY 5th, 2001)
(イソプロパノールアミン)
rat LD50=2098 mg/kg (DFGOT, 1998)

急性毒性(経皮)

[日本公表根拠データ]
(ベンジルアルコール)
rabbit LD50=2000 mg/kg (SIDS, 2008)
(イソプロパノールアミン)
rabbit LD50=1560 mg/kg (IUCLID, 2000)

急性毒性(吸入)

[日本公表根拠データ]
(ベンジルアルコール)
vapor : rat LC50=8.9 mg/L (SIDS, 2008)

局所効果

皮膚腐食性・刺激性

[日本公表根拠データ]
(イソプロパノールアミン)
ラビット 腐食性 (DFGOT, 1998)

眼に対する重篤な損傷・刺激性

[日本公表根拠データ]
(ベンジルアルコール)
ラビット (OECD TG 405) 中等度の刺激性 (SIDS, 2008)
(イソプロパノールアミン)
ラビット 腐食性 (DFGOT, 1998)

感作性データなし

生殖細胞変異原性データなし

発がん性データなし

催奇形性データなし

生殖毒性データなし

特定標的臓器毒性(単回/反復 ばく露)データなし

吸引性呼吸器有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性

水生生物に有害
長期継続的影響により水生生物に有害

水生毒性(急性) 成分データ

[日本公表根拠データ]
(ベンジルアルコール)
魚類(ファットヘッドミノー) LC50 = 460 mg/L/96hr (SIDS, 2004)
(イソプロパノールアミン)
藻類(セネデスマス) EC50 = 23 mg/L/72hr (IUCLID, 2000)

水溶解度

(ベンジルアルコール)
4 g/100 ml (ICSC, 2000)

(イソプロパノールアミン)
 溶ける (ICSC, 1997)
 残留性・分解性データなし
 生体蓄積性
 (イソプロパノールアミン)
 log Pow=-1.0 (ICSC, 1997)
 (ベンジルアルコール)
 log Pow=1.1 (ICSC, 2000)
 土壌中の移動性データなし
 オゾン層破壊物質データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法
 環境への放出を避けること。
 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類
 国連番号に該当しない
 バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード
 有害液体物質(Y類)
 ベンジルアルコール; イソプロパノールアミン
 有害でない物質(OS類)
 水

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令
 毒物及び劇物取締法に該当しない。
 労働安全衛生法
 有機溶剤等に該当しない製品
 労働安全衛生法に該当しない。
 化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。
 消防法
 第4類 引火性液体第3石油類水溶性 危険等級 III
 化審法に該当しない。

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN
 Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 18th edit., 2013 UN
 Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)
 2012 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)
 2015 TLVs and BEIs. (ACGIH)
<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>
 JIS Z 7253 (2012年)
 JIS Z 7252 (2014年)
 2015 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)
 Supplier's data/information

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改

訂される事があります。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データです。